

あんしんバリアーとは

歩行者および逸脱車両のドライバーに危険を知らせるために音と振動の発生機能を付加したスリット側溝を使用した、「交通事故の防止及び軽減」を目的とした技術です。

運転中の携帯電話や居眠り等で車輛が歩道側に逸脱した場合、歩行者には発生した警告音で早期に危険を知らせ、運転者にも音と振動により注意を促すため、双方に高い安全性を提供できます。

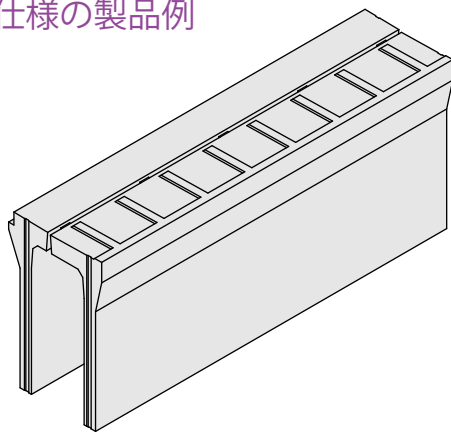
安全性 新設の道路側溝に設置できる「交通安全対策」

1. 居眠りやわき見運転で車道を逸脱したドライバーに、振動で注意を与えることにより「歩行者の安全向上に大きな効果」を発揮します。
2. 大型トラックや四輪駆動車、時には普通乗用車でも、縁石ブロックを乗り越える事故が少なくありません。通学道路へ設置することで、ドライバーのうっかり運転による「子供達の悲惨な交通事故」を減らすことができます。

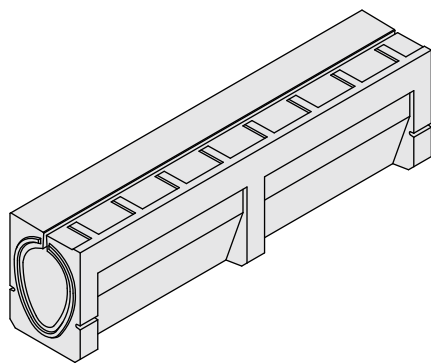
経済性 新設の道路側溝に設置できる「コスト縮減工法」

1. これから施工される側溝を「振動（バイブレーション）機能付の側溝」にするだけで良く、工事費が全く発生しない「コスト縮減工法」です。
2. 本体と一体化されたわずかな突起構造のため摩耗が無く、設置後は維持管理費が全く掛からない「メンテナンスフリー工法」となります。
3. スリットの有無に関係なく、現在全国で販売されている「ほとんどの側溝に採用」する事ができます。

あんしんバリアー仕様の製品例



Cドレーン



新型卵形側溝

